

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
小児慢性特定疾病児童等の自立支援に資する研究班
分担研究課題

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業自立支援員を対象とした
ロールプレイを用いた就職支援研修

研究分担者：落合亮太（横浜市立大学学術院 医学群 医学研究科 看護学専攻）
研究協力者：猪又竜（先天性心疾患患者本人）
研究協力者：城戸貴史（静岡県立子ども病院）

研究要旨

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業における「就職支援」が関与する就職及び就労継続は、小児慢性特定疾病を有する患者の生活の質の重要な規定因子とされている。一方、自立支援事業における就職支援事業の実施状況は、令和2年度時点で129実施主体中10実施主体（7.8%）に留まることが報告されている。本研究班ではこれまでに、企業の人事・教育部門担当者を対象とした実態調査、就労に向けて小慢患者や家族が支援者と共に確認・検討していくべき項目の選定、よくある相談内容に対する対応モデル集の作成を行ってきた。令和2年度、本分担研究班では、これまでの研究成果を活用し、自立支援員を対象としたロールプレイを用いた就職支援研修を試行した。

A. 研究目的

平成27年1月より都道府県、指定都市、中核市は小児慢性特定疾病児童等（以下、小慢児童）の将来の自立にむけ、小児慢性特定疾病児童等自立支援員（以下、自立支援員）を配置する等して、「相談支援」「療養生活支援」「相互交流支援」「就職支援」「介護者支援」「その他自立支援」で構成される小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（以下、自立支援事業）を実施している。

このうち、「就職支援」が関与する小慢児童の就職及び就労継続は、小児慢性特定疾病（以下、小慢）を有する患者（以下、小慢患者）の生活の質の重要な規定因子とされている。一方、自立支援事業における就職支援事業の実施状況は、令和2年度時点で129実施主体中10実施主体（7.8%）に留まることが報告されている¹。

本研究班ではこれまでに、企業の人事・教育部門担当者を対象とした実態調査²、就労に向けて小慢患者や家族が支援者と共に確認・検討していくべき項目の選定³、よくある相談内容に対する対応モデル集の作成⁴を行ってきた。令和3年度、本分担研究班

では、これまでの研究成果を活用し、自立支援員を対象としたロールプレイを用いた就職支援研修を試行したため、これを報告する。

B. 研究方法

研修参加者：

対象は国立研究開発法人 国立成育医療研究センター・認定 NPO 法人 難病の子ども支援全国ネットワーク第11回小児慢性特定疾病児童等自立支援事業自立支援員研修会アドバンス編の参加者とした。この参加者は、事前に上記組織が実施する自立支援員研修会ベーシック編を受講しており就職支援に利用できる制度等に関する基本的な解説を受けていた。

研修内容：

研修会には、本分担研究班から分担研究者（落合、看護師）と研究協力者（猪又、先天性心疾患患者本人；城戸、医療ソーシャルワーカー）が講師として参加した。

研修の構成は、オリエンテーション、ロールプレイ、ロールプレイ結果の共有、分担研究者と研究協力者によるフィードバック

クとした。開催形式は、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえてオンラインでの開催とした。

(倫理面への配慮)

本研究は、患者情報等は取り扱うことはないことから、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の対象ではない。

C. 研究結果及び考察

研修会は計 105 分とし、オリエンテーションでは就職支援に利用できる制度等の確認とロールプレイに用いる模擬事例の紹介を行なった(資料 1)。模擬事例は、先行する企業の人事・教育部門担当者を対象とした調査²で用いた事例に対応させ、左心低形成症候群に対し Fontan 術を受けた 18 歳の患者とした。

その後のロールプレイでは、分担研究者(落合)と研究協力者(猪又)が患者役となり、研修参加者は 2 グループに分かれて、先行研究³の結果をもとに作成した情報収集シート(資料 2)を用いて患者役から必要な情報を聞き取った。また、対応モデル集⁴を参照し、提案可能な支援について検討した。

ロールプレイ終了後、各グループからロールプレイ結果を発表した。最後に、分担研究者(落合)と研究協力者(猪又、城戸)から、参加者へフィードバックを行った。

D. 結論

自立支援事業における「就職支援」の普及と質の確保のためには、自立支援員研修の充実も重要な課題である。本分担研究班のこれまでの研究成果から、対象としたロールプレイを用いた就職支援研修を企画・実施した。今後は参加者の評価をもとに研修内容を洗練させることが課題である。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

引用文献

1. 掛江直子. 小児慢性特定疾病対策における自立支援事業に関する現状と課題. 令和 2 年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の発展に資する研究班 総合研究報告書 2021:363-383.
2. 落合亮太, 猪又竜, 榎本淳子, 城戸貴史, 西朋子, 西村幸, et al. 小児慢性特定疾病を有する患者の就労に関する企業対象調査 -企業規模別の検討-. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の発展に資する研究 平成 31 年度総括研究報告書 2020.
3. 落合亮太, 秋山直美, 猪又竜, 榎本淳子, 城戸貴史, 西朋子, et al. 就労に向けて当事者・支援者が確認・検討していくべき項目に関する調査. 厚生労働省科学研究費補助金 (難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業)) 「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の発展に資する研究」分担研究報告書 2021:423-434.
4. 三平元, 滝川国芳, 檜木暢子, 落合亮太, 檜垣高史. 自立支援事業実施手引き・自立支援員研修教材作成. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の発展に資する研究 令和 2 年度総括研究報告書 2021:226-306.